



戦没者への追悼と平和を祈念して

8月14日 湯沢市戦没者追悼献花式

先の大戦における戦没者に心から追悼の誠を捧げ、ご遺族の労苦に敬意を表し、恒久平和を祈念する「湯沢市戦没者追悼献花式」が開催されました。

当日、市役所本庁舎1階市民ロビーには自由献花台が設置され、訪れたかたがたは戦没者の御霊を偲びながら平和を祈念し献花されました。



音楽のまち“ゆざわ”夏の祭典

8月9日 サマーミュージックフェスティバル2026

サクソフォン奏者の織田浩司さんやアトリオン少年少女合唱団をゲストに迎え、「サマーミュージックフェスティバル2026」が秋田エブソンゆざわホール（湯沢文化会館）で開催されました。

県立稲川支援学校高等部をはじめ、フェスティバル合唱団、小学生によるフェスティバルキッズ、若手演奏家、中学生・高校生・一般奏者によるフェスティバルバンドの演奏などが披露され、会場には心地よいハーモニーが響き渡り、観客を魅了していました。



ドローンの動きに歓声上がる

7月24日 わくわくプログラミング教室

プログラミングの基礎を学ぶ機会を提供し、思考力や発想力、創造力を養ってもらおうと、小中学生を対象としたプログラミング体験教室が、文化交流センターで行われました。

この日は小中学生22人が参加。小学生の部では、ドローンのプログラミングに挑戦し、プログラムどおりの飛行や着地に成功すると、会場から歓声が上がっていました。中学生の部ではロボットの自動操縦を体験。児童生徒は楽しみながらプログラミングへの理解を深めていました。

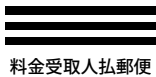


秋田ゆかりの詩が響く、夏の大舞台

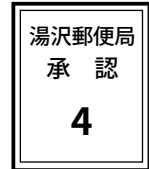
8月1日 全国高等学校総合文化祭

「第50回全国高等学校総合文化祭（郷土芸能部門・吟詠剣詩舞部門）」が秋田エブソンゆざわホール（湯沢文化会館）で行われました。

8月1日の吟詠剣詩舞部門では全国から集まった20組のチームが吟詠や舞を披露。大トリを飾った秋田県代表である湯沢高等学校・増田高等学校・横手城南高等学校の3校の合同チームは、県ゆかりの詩4作を情感豊かに詠い、ふるさとの詩を会場に響かせました。



料金受取人払郵便



差出有効期間
令和10年3月
31日まで
(切手不要)

0 1 2 8 7 9 0

湯沢市佐竹町1番1号

湯沢市役所

ふるさと未来創造部

情報政策課

元気・魅力発信班 行



(差出人)

■住 所

■氏 名

■年 齢

■性 別

歳 男 ・ 女

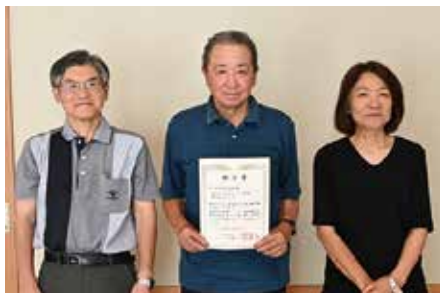
■電話番号

※投稿は広報紙上に掲載させていただく場合があります。

※ご記入いただいた個人情報は、記入内容に対する確認および回答、個人を特定しない形の統計情報、読者プレゼントの発送以外には使用しません。

※ご記入いただいた個人情報を同意なしに第三者に開示・提供することはありません。

功労・功績をたたえて



ニッセイ財団
生き生きシニア活動顕彰「その他地域づくり活動」

中ノ台集落自治会

「このような賞をいただき大変感謝しております。今後、行事や活動を通して、楽しく明るく生活できる地域づくりを目指していきたいと思っております」

地域の高齢者が行う地域貢献活動、児童・少年の健全育成活動などを顕彰する公益財団法人日本生命財団の生き生きシニア活動顕彰において、中ノ台集落自治会が顕彰を受けました。

同自治会は、季節ごとの神社の伝統行事を住民が協力して守り続けているほか、毎月の農道や水路などの環境整備を通じて助け合いと高齢者の見守りが自然に生まれる地域づくりを進めており、こうした活動が評価されたものです。



良質な関係人口の創出へ

7月28日 田舎暮らしの入り口事業委嘱状交付式

民間企業で活躍する人材を「共創パートナー」として迎え、地域社会の課題解決に向かう取り組みに、誘致企業の大崎データテック株式会社（代表取締役社長：石本裕章）が参画し、市より同社社員2名に委嘱状を交付しました。「市全体が一つの宿になる」おもてなしネットワークの構築をテーマに、宿泊・受け入れ課題の整理と解決策の提案に向けて活動します。

佐藤市長は「さまざまな視点で地域を捉え、課題解決に向けた提案を期待しています」と述べ、石本社長は「先入観を持たず地域から学び、外部視点を生かして湯沢市の将来に貢献したい」と話しました。

※写真左から佐藤市長、菅永祐さん、滝口秀樹さん、石本社長



二十歳の誓いを胸に、未来へ

8月15日 湯沢市二十歳を祝う会

「令和8年度湯沢市二十歳を祝う会」が秋田エブソンゆざわホール（湯沢文化会館）で行われ、対象者282人のうち、225人が出席しました。

式では、対象者代表の今仲捺渚斗さんが「まだまだ未熟な部分も多い私たちが、これまで支えてくれたかたがたへの感謝を忘れず、たくましく力強く生きていきたい」と二十歳の誓いを述べました。

対象者代表の今仲さん▶

